

しゃらく互助倶楽部

おかげさまで創業20年

生活支援だより

Vol. 30

2025年8月

こんにちは、生活支援が充実した神戸の安全・安心の身元保証サービス、しゃらく互助倶楽部です。
しゃらく互助倶楽部で提供したサービスを皆さまにお届けします。将来的な問題に備えて皆様の参考になれば幸いです。

活動記

安心は行動から生まれる ～会員様のご契約と支援の実例より～



本年、7月にご契約いただいた会員様のお話です。

その方は、体調に違和感を覚え、ミニバイクで病院へ向かわれました。検査の結果、脳梗塞に似た症状が見られたため入院され、さらに詳しい検査を受けたところ、脳腫瘍が発見されました。すぐに病院を移り手術を受けられ、最悪の事態は回避できたものの、重い後遺症が残る結果となりました。

ご契約に必要な印鑑や通帳などはご自宅に保管されていましたが、入院中であること、そして身体の状態からも、ご本人が自宅へ戻りそれらを取りに行くことは困難でした。私たちが契約前にご自宅へ入ることもできない状況でしたが、会員様には先にご契約を進めていただき、弁護士との間で金銭・財産管理に関する委任契約を締結することで合意を得て、正式に契約を進めることができました。

その後、会員様より「自宅に保管してある現金を通帳に入金してほしい」「必要な物を持ってきてほしい」とのご依頼をいただきました。

しゃらく互助倶楽部では、会員様が不在のご自宅に入る際には、いくつかの厳格なルールを設けています。

①スタッフ1名のみでの訪問は原則禁止 ②必ず2名以上で訪問する ③やむを得ず1名で訪問する場合は、訪問前から録画を開始し、滞在中は常に録画を継続するこれらはすべて、会員様に「安全」と「安心」をお届けするための取り組みです。

今回は、現金の取り扱いや実印の持ち出しがあるため、弁護士の立ち会いのもとでご自宅に入らせていただきました。また、病院と自宅をオンラインで接続し（録画も実施）、作業の様子を会員様にリアルタイムでご確認いただきながら進めました。

「そこまでする必要があるの?」「やりすぎでは?」
といった声をいただくこともありますが、私たちは「そこまでしなければ、本当の意味での安全と安心は提供できない」と考えています。認識の違いによるトラブルを未然に防ぐためにも、しゃらく互助倶楽部では、最大限の安心をお届けする取り組みをこれからも続けてまいります。



左：自宅で作業する小倉。右上、病室で様子を見る会員様。左下はたブレッドの補助をするスタッフ

月	火	水	木	金	土・日
	1 介護タクシー(万博付添) 支援(清掃)	2 介護タクシー(万博付添) 支援(退院支援及び清掃買物付添)	3 支援(買物代行)	4 支援(旅行付添) 支援(退院付添)	5・6 支援(旅行付添)
7 支援(旅行付添) 支援(受診付添) 支援(介護タクシー受診付添)	8 支援(旅行付添) 支援(水回り清掃、ガレージ清掃) 安否確認架電	9 支援(旅行付添) 支援(施設会員様の申出署名)	10 支援(旅行付添) 意思表示書更新 支援(受診付添) 支援(お買物代行)	11 意思表示書更新 会員様受診後の様子伺い	12・13
14 支援(外出付添) 支援(盛夏のお供え支援)	15 支援(お買物代行) 支援(台所清掃、空調機フィルター清掃)	16 支援(受診付添) 支援(外出付添) 支援(迷惑電話対応)	17 互助契約	18 旅リハ	19・20
21	22 支援(居室清掃) 支援(買物代行)	23 支援(緊急入院対応) 支援(弁護士同行の上ご自宅訪問) 支援(外出付添)	24 支援(お買物代行)	25 介護タクシー 互助お便り発送	26・27
28 支援(ご自宅清掃)	29 支援(お買物、携帯電話ショップ付添) 支援(清掃・買物付添)・ご自宅清掃	30 支援(外出付添) 支援(ご自宅清掃)	31 支援(担当者会・訪問看護契約立会) 支援(受診付添・外出支援)		

会員様 行ったことがない北海道へ

「北海道に行ったことがないの。連れて行ってくれる？」
 そんな一言から始まった旅のご相談。知床でクジラを見たい、旭川動物園に行きたい、富良野・美瑛で花を見たい、トマムで雲海を眺めたい——と、たくさんのご希望をいただきました。

広大な北海道での移動は大変でしたが、休憩を挟みながら無理のない行程を組み、安心して旅を楽しんでいただけました。

知床ではシャチや熊に出会い、旭川動物園では展示に感動。富良野では美しい花々を堪能し、トマムでは幻想的な雲海を眺めることができました。帰神後は笑顔で思い出話をたくさん聞かせてくださり、「やりたかったことができた！」という言葉が印象的でした。



皆様も、行きたい場所・やりたいこと、今こそ叶えてみませんか？
 しゃらく互助倶楽部は、その一步を応援します。

今月のご相談

医療上の意思表示書

本日、施設にご入居されている会員様が救急搬送されたとの連絡を受けました。ちょうど全スタッフが朝から生活支援に出向いている時間帯でしたが、何とか調整を行い、病院へ急行いたしました。

診断の結果は「糞便性イレウス（腸閉塞）」で、しばらくの入院が必要とのことでした。しゃらく互助倶楽部では、入院手続きや保証人登録、入院中に必要な物品の手配など、会員様が安心して療養できるよう支援をさせていただいております。

医師からの説明の中で、「命に関わる病気ではありませんが、持病やご年齢を考慮すると急変の可能性があります。万が一の際、心肺蘇生を行いますか？」という重要な問いかけがありました。ご本人が判断できない場合は、ご家族が判断することになりますが、今回は身寄りがないため、その判断を代わって行うことができませんでした。このような選択は非常に重く、簡単に決められるものではありません。

この出来事を通じて、改めて「医療上の意思表示書」の大切さを痛感いたしました。会員様の思いや希望を尊重し、代弁するためには、しっかりとした根拠が必要です。その根拠となるのが、医療上の意思表示書です。

病床に就いてからでは、意思を伝えることが難しくなる場合もあります。まだ作成されていない方は、ぜひ今のうちに準備を進めていただくことをおすすめいたします。

小倉の仕事視線Ⅱ ～事務所から自宅へ

前回の「しゃらく互助倶楽部新聞」では、事務所での仕事環境についてご紹介しました。モニター2台を使った作業環境は快適で、効率も上がる一方、15年選手の椅子の座り心地には悩まされている…そんなお話でした。

今回は、自宅での仕事環境についてご紹介します。

出張が多い私ですが、事務作業は集中して一気に片付けるのが日課です。出張の予定がない日や休日には、朝6時すぎからパソコンの前に座り、たまった仕事を片付けていきます。博士論文の執筆も、この自宅の環境で行っています。



本棚に囲まれた、自分だけの静かな空間。モニターの数も多く、PCの処理速度も速いため、事務所よりも1.5倍は効率よく仕事が進みます。会社のデータにも問題なくアクセスできるので、まさに“お気に入りの仕事場”です。

事務所も自宅も、それぞれに良さがありますが、環境を整えることで仕事の質も変わることを実感しています。次回は、出張先での仕事視線もご紹介できればと思っています。

第6回

「安心できる余生のためのお一人様終活セミナー」の開催

昨年は120名を超える方々にご参加いただいたセミナーですが、今年は規模を少し縮小して開催することが決定しました。定員に達し次第、受付を締め切らせていただきますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

開催場所	開催日	時間	
西神中央地区（定員 30名） 西区文化センター 会議室2 神戸市西区梶台5丁目6-1	10月27日（月）	午前の部	9:30～11:30
		午後の部	13:30～15:30
明石地区（定員 30名） ウィズ明石 学習室803 明石市東仲ノ町6-1 7F 明石北館8階	10月29日（水）	午前の部	9:30～11:30
		午後の部	13:30～15:30
東灘区地区（定員 30名） 東灘区文化センター 会議室1 神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16	10月30日（木）	午前の部	9:30～11:30
		午後の部	13:30～15:30
三ノ宮地区（定員 30名） 中央区文化センター 会議室1103 神戸市中央区東町115番地 11階	10月31日（金）	午前の部	9:30～11:30
		午後の部	13:30～15:30

関心のある方はしゃらく互助倶楽部までご連絡ください。平日9:00～17:00

コラム

ペットが自分より長生きしたら

先月の新聞夕刊に、「ペットが自分より長生きしたら」という記事が掲載されていました。私たちの家にも、保護した犬と猫がいます。かつて、飼い主が戻れなくなった家で、空腹と汚れに苦しんでいた猫6匹を保護し、治療を行いました。そのうち5匹は、信頼できる方々に引き取っていただくことができました。

犬や猫は、自分で助けを求めることができません。だからこそ、しゃらく互助倶楽部に関わる弁護士、葬儀社、企業の皆さんと「それなら仕組みを作ろう！」という話になりました。

現在、私たちが準備している主なサービスは以下の4つです。

- ①急な入院時などの一時預かり
- ②飼い主の死後の終の棲家提供
- ③里親探し支援
- ④火葬・埋葬・共同墓地サービス

神戸市内から電車でアクセス可能な、少し離れた古民家を改修し、障がいのある方や働きづらさを感じる方の雇用の場として活用する予定です。地域のボランティアの受け皿としても機能させたいと考えています。

母体はNPO法人しゃらく。2030年の設立を目指し、多くの企業や個人と連携しながら、ペットと飼い主が安心して暮らせる場所づくりを進めてまいります。

